

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
12020 (12020)	琉球沖縄史B (琉球史B)	2単位 後期	1~4	講義	麻生 伸一

■テーマ 琉球・沖縄史から今の沖縄・日本を考える

■授業の概要

本講義では、ものごとを批判的に捉え、多角的・多面的に見つめることを琉球沖縄史の研究成果に基づいて概説します。具体的には、政治史や外交史、社会史、民衆史などさまざまな角度から琉球の歴史を掘り下げ、近代以降の琉球沖縄に住む人びとの歴史的経験を説明する。ただし、いわゆる通史ではなく、琉球・沖縄の特質を示す個別テーマを採り上げ、「沖縄」「日本」「東アジア」「国家」「民族」を考えます。また、他の受講生とのコミュニケーションを取りながら、自身の考えを論理的に構築することをめざします。なお、講義中は指名して意見を求めます(けっこうあてると思います)。

■到達目標

- ・沖縄の歴史に関する基礎的な知識を習得する。
- ・現在の沖縄が置かれた立ち位置を歴史的な文脈で理解する。

■授業計画・方法

1. ガイダンス
2. 河上肇・島尾敏雄と「日本」「南島」
3. 金城哲夫の「沖縄」
4. 「琉球人」と「沖縄人」
5. 語られる琉球・沖縄史
6. ドラマのなかの近世琉球
7. 宮古島と近代
8. 公同会運動と沖縄の自治
9. 近代教育の導入と「沖縄語」
10. 首里という都市空間：首里巡検
11. 沖縄と「移民」
12. 沖縄とマイノリティ
13. 戦後沖縄と日本
14. これからの「沖縄人」の生き方
15. 総合討論 **定期試験は実施しない**

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・レポート（課題論文の論評／史跡見学の感想文、それぞれ1200字程度）の作成を求めます。

■成績評価の方法・基準

- 方法 レポート（2回／70%）と平常点（リアクションペーパー、講義への参加度／30%）で評価します。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□参考文献

- 豊見山和行（編）『琉球・沖縄史の世界（日本の同時代史18）』（吉川弘文館、2003）
- 安里進ほか『県史47 沖縄県の歴史』（山川出版社、2004）
- 鹿野政直『沖縄の戦後思想を考える』（岩波書店、2011）